

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ゼン・ソウル	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.490	△RG	0.051	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ゼン・ソウル

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：ゼン・スピリット

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

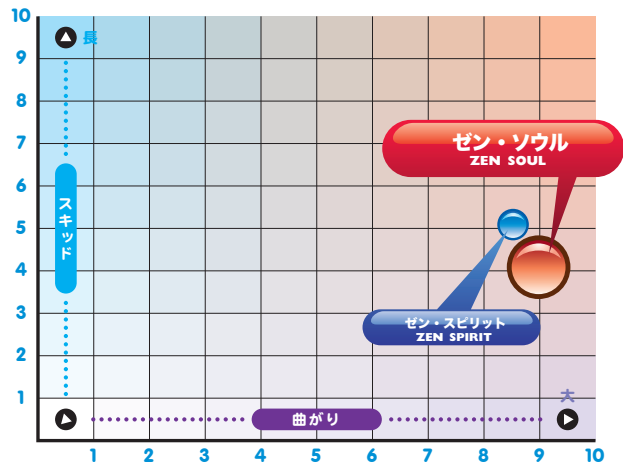
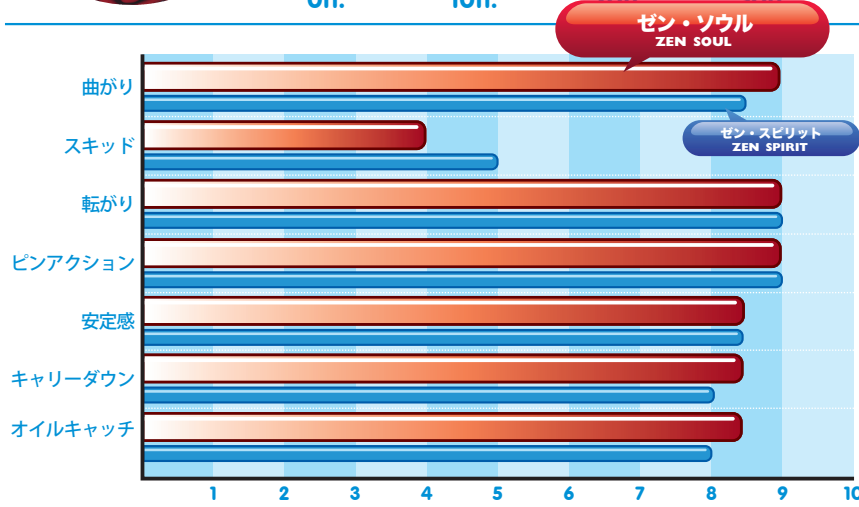
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

900Globalで過去最大のトラクションをもつMeditateコアは、対称コアで最も軌道を安定させる目的で作成されました。初代ZENはその安定感を遺憾なく発揮した性能で、男女問わず高評価を受けたボールでした。前回発売したZEN SPIRITはその安定感を最大限にアグレッシブなパフォーマンスにシフトチェンジさせた性能で、爽快な走り感とバックエンドの角がでるリアクションは多くのファンを獲得しました。そして今回のZEN SOULはHybridカバーを搭載し、SolidカバーのZEN MASTER、PearlカバーのZEN SRIRITとはまた違い、両方の性能を併せ持つ意味合いで作られました。S77 Response Hybridカバーは900Globalで初採用のカバーで、表面仕上げも#4000アブラロン加工と走りをイメージさせながらもトラクションを意識させ、エネルギーロスを最小限に抑えオイルに対する挙動を少なくした安定感と、何より強さを前面に出したボールと言えます。ZEN SRIRIT、ZEN MASTERと比較投球しましたが、性能的にはZEN MASTER寄りに感じます。それはHybridカバーでも#4000アブラロンの加工がプレーキ感とオイルに対する強さを出しているためで、ポリッシュ加工のZEN SRIRITと比べると手前の安定感は抜群によく感じます。ZEN MASTERのSolidカバーで#3000アブラロン加工とはまたキャッチ感もバックエンドの動きも異なりますが、ZEN MASTERよりも中盤から後半のメリハリ感を感じました。手前のオイルが薄くなり始めると噛み上りが早く出る傾向があり、総合的にはオイルを感じるコンディションでの投球がメインになるでしょう。このZEN SOULが加わることで、ZEN SPIRITとの使い分けができ、コンディションへの対応幅が大幅に広がることでしょう。

特記事項

ZEN SOULで朝一のオイルを感じるコンディションを使い、幅が取れるようになったらZEN SPIRITへのボールチェンジが盤石のリレーとなるでしょう。